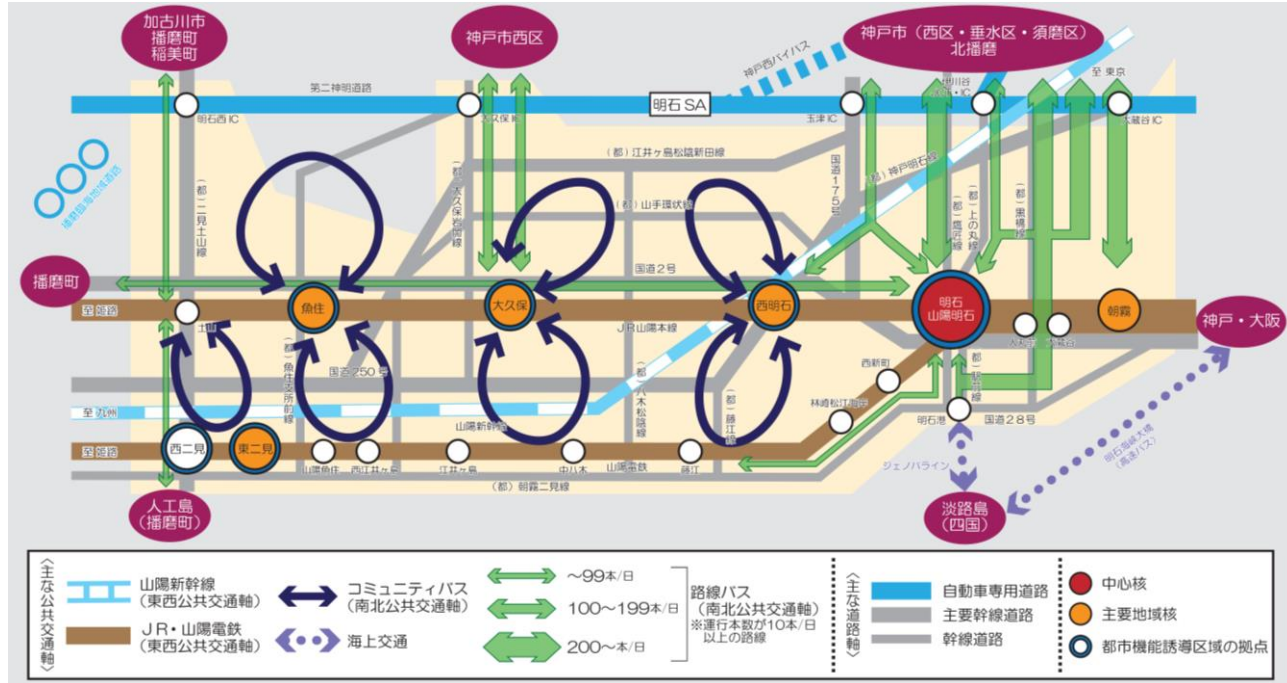


交通ネットワークの考え方

東西の移動は鉄道、南北の移動はバス交通が担い、西明石地域以西の路線バスが運行していない地域と最寄り駅をコミュニティバスが結ぶことで、役割分担しながら交通ネットワークを形成します。



概要版

明石市総合交通計画

令和4年度改定版

令和5年度(2023年度)～令和14年度(2032年度)

【計画の目的】

「明石市総合交通計画」は、過度に自動車に頼らず、徒歩や自転車、鉄道、バス、タクシーなどの交通手段の適切な役割分担のもと、「誰もが安全で安心して移動できる持続可能な交通体系の確立」に向け、必要な取り組みとその展開を明らかにすることを目的としています。

【本市の課題】

- (1) 少子高齢化の進展
- (2) 持続可能なコンパクトなまちづくり
- (3) 公共交通(鉄道・バス)の交通ネットワークの維持
- (4) 多様な移動ニーズへの対応
- (5) 交通安全対策
- (6) 脱炭素に向けた対応
- (7) 自動車分担率の増加
- (8) 近隣市町との連携の強化
- (9) 新しい生活様式への対応

【計画の基本理念】

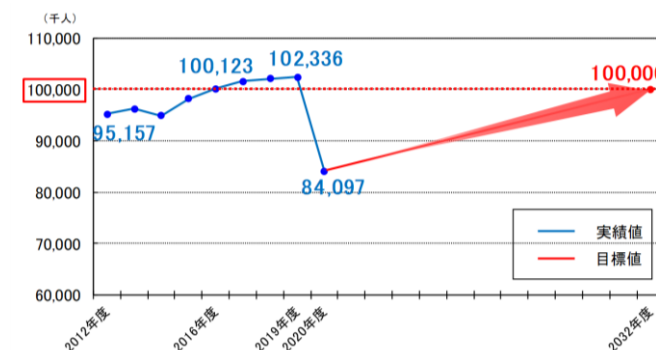
みんなで持続可能なやさしい交通体系を守り・育てる

～「人と人」「人と地域」「地域と地域」をつなげる公共交通～

【計画の目標】

(1) 公共交通利用者数

現況値 8,410万人 (2020年度) → 目標値 1億人に増加 (2032年度)



(2) 公共交通利用圏

現況値 91.8% (2022年度) → 目標値 90%以上に維持 (2032年度)

(3) コミュニティバスの収支率

現況値 36.4% (2021年度) → 目標値 50%に増加 (2032年度)

(4) 利用者1人あたりの公的資金投入額

現況値 138円/人 (2021年度) → 目標値 138円/人に維持 (2032年度)

コミュニティバスの展開方針

◆ コミュニティバスの見直し基準

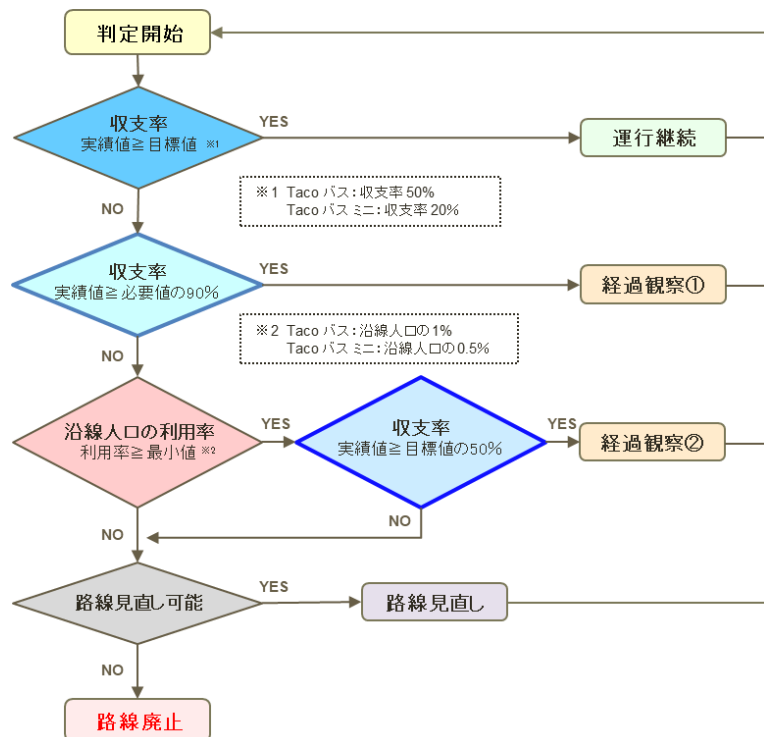
収支率※(運行収入/運行経費)が、以下の基準を下回る場合は、運行の見直しなどを検討します。

Tacoバス：50% / Tacoバスミニ：20%

※収支率は、全利用者が税抜き運賃を支払ったとみなした運行収入と、車両減価償却費を除いた運行経費より算出

◆ 路線改廃スキーム

路線の見直しや廃止に向けた手順を明確化し、以下の具体の手法により運用を行います。



収支率
全利用者が税抜き運賃を支払ったとみなした時の収支率
目標値
収支率の見直し基準値を日利用者数に換算した値
目標値 = (年間運行経費 - 減価償却費) / (税抜き運賃 × 見直し基準 / 365日)
必要値
評価前年度の実績から評価年度の5年後に目標値を達成するために必要な日利用者数
沿線人口の利用率
各路線の日利用者数を沿線人口で除した値
※沿線人口：バス停から半径300m圏内の人口
最小値
沿線人口の利用率
Tacoバス：1% Tacoバスミニ：0.5%
経過観察①
現状の路線維持を原則とする
経過観察②
地域と路線見直しや利用促進に向けた検討を始める

